

## WSP150 サージプロテクター



WSP150 コンパクトサイズに3段階の保護機能が組み込まれています

### 特長

- 優れた3段階のサージ保護
- 10kAまでのサージ電流に耐える
- HPおよびRF干渉に対するノイズフィルター
- 堅牢な構造、IP66レベルの筐体
- チャンネル毎に差動および共通の両モードの保護
- 電力2チャンネルとデータ2チャンネル
- ヴァイサラのすべての風向風速計とウェザートランスミッターに使用可能
- 使用例：柱上設置の気象測定ネットワーク、風力発電地域のMETステーション

### WSP150

ヴァイサラのサージプロテクターWSP150はコンパクトなサージ保護装置で、野外使用向けに設計されています。ヴァイサラのすべての風向風速計とウェザートランスミッターに使用できます。

### 機器を落雷から保護

近くに落雷があると高電圧サージが誘発されますが、機器に内蔵のサージ保護機能ではそれに耐えられないことがあります。その場合、保護機能の追加が必要になります。激しい雷雨が頻繁に発生する場所や30メートルを超える長いケーブルを使っている場所では特に必要です。

WSP150は電源ケーブルおよび信号ケーブルを経由して入ってくる最大10kAまでのサージ電流に対して、3段階の保護が組み込まれています。

### 落雷に対処するパワフルな技術

WSP150は4チャンネルで、その内の2つは電源ライン専用、2つはデータライン用です。各チャンネルは次のような3段階の保護の仕組みが使われます。最初は放電チューブ、次に電圧依存抵抗器 (VDR)、最後に過渡ツェナーダイオードがあります。各段階の間には、直列のインダクターまたは抵抗器のいずれかがあります。

各チャンネルには差動および共通の両モードの保護が備わっています：ペア線間、対動作電圧接地、対地。

WSP150にはHFおよびRF干渉に対するノイズフィルターが備わっています。

### 用途

ヴァイサラがWSP150の使用をお奨めするのは、風向風速計や気象観測機器が高い建物、または柱の先端や開けた地上など、雷を誘発する危険のある場所に設置してある場合です。

ケーブルの長さが30mを超える場合、または非シールド裸線を使用している場合もWSP150をお奨めします。



## 技術情報

## 電氣的仕様

入力電圧 (チャンネルライン間およびラインからGNDへ、3番端子)	
電源チャンネル	最大 ±43V
データチャンネル	最大 ±13V
入力共通モード電圧 いずれかのラインから接地	最大 ±72V
スループット電流	
電源ライン	最大 1.5A
データライン	最大 0.16A
スループット抵抗 (1ライン当たり)	
電源ライン	0.3Ω
データライン	15Ω
ターンオン (スイッチオン) 電圧	
電源チャンネル	最大 ±60V
データチャンネル	最大 ±16V
サージ電流	
対地へ	最大 10kA
差動	最大 5kA
EMC サージ許容値	EN 61000-4-5, (4kV, 2kA) IEEE C62.45 (6kV, 3kA)

## 一般仕様

使用/保管温度	-52°C +70°C
設置/メンテナンス時の温度	-40°C +70°C
ハウジングクラス	IP66 (NEMA 4X)

## 寸法

本体のみ	130×94×58 mm
ケーブルブッシング、架台を含む	130×120×69 mm
ケーブル	4~8 mm φ
ワイヤ	0.4~1.7 mm φ (AWG 26~14)

本体材質                   ポリカーボネート、ステンレス

WSP150が使用できるヴァイサラの機器例：

WXT510

WMT50

WS425

WA15+WAT12/WAC151/WAC155

WA25+WAT12/WAC151/WAC155

## 外形図

単位:mm

